

今こそ！地域で子育て

遊びや体験の機会の減少や、携帯電話・スマートフォンの普及など、子どもの生活環境は、近年大きく変わりました。日常生活で子どもたちがいるんな世代の人々と関わったり、伝統行事などの多様な経験をしたりすることが、以前に比べて少なくなっています。

こうした中、学校・家庭・地域が連携して社会全体で子どもを育ていくことが、これまで以上に重要になっていきます。

今回は、地域で子どもたちを育てるさまざまな取り組みについて紹介します。

こどもみらい課 ☎825・1949
生涯学習課 ☎829・2044

弥生が丘子ども会で初めて開催した親睦餅つき大会。子どもたちが保護者や地域の方々に教えてもらいながら餅つきを楽しみました。

特集

市政

長崎市民

ご意見
プレゼント

生活情報

健康

子育て

福祉

税

講演・講座

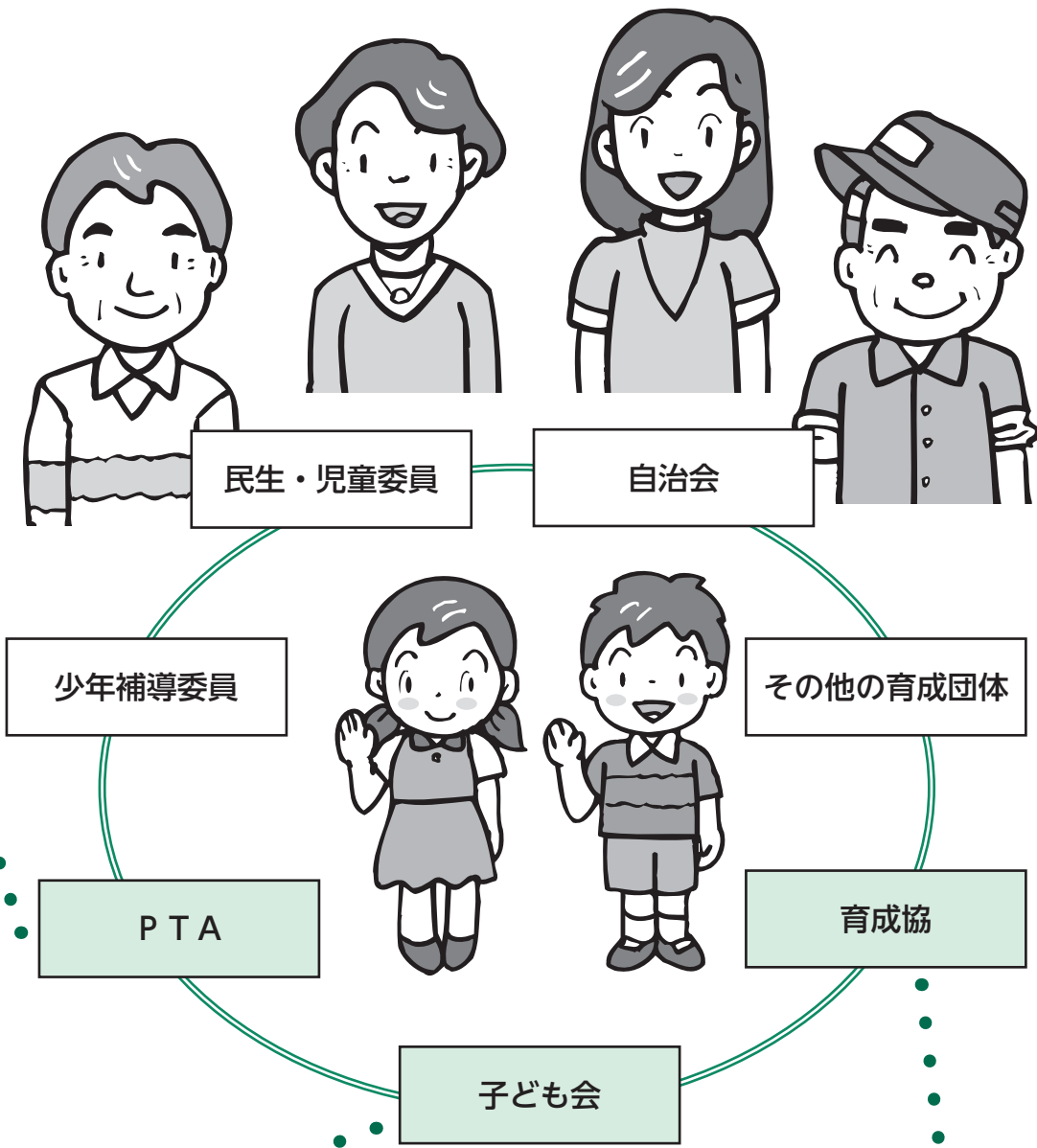
もよおし

おしらせ

募集

地域でつながる子育ての輪

さまざまな団体が、地域で子どもたちが健やかに育つように取り組んでいます。ここでは、子育てを主な活動内容とし、地域の幅広い方々が参加している、「PTA」「育成協」「子ども会」をご紹介します。



育成協

育成協（青少年育成協議会）は、中学校区または小学校区内で結成されています。地域の方々が中心となり、子どもたちの健全育成のために、伝統行事や体験活動、スポーツやレクリエーションなどのイベントを実施したり、非行防止・事故防止の活動を行ったりするなど、地域ぐるみで取り組んでいます。

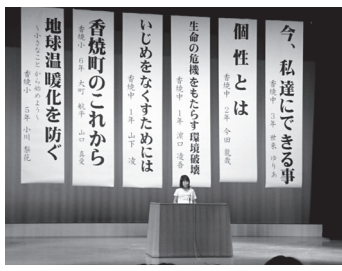
鬼火たき（おんのほね）

深堀中学校区育成協が中心となり、連合自治会など地区の団体が参加して、無病息災を祈願する新春行事として開催しています。



少年意見発表会

香焼中学校区育成協では、子どもたちが、日頃から考えていることや将来の夢などを話す発表会を開催しています。



PTAは、保護者と教師が協力して、家庭と学校、学校と地域、地域と家庭をつなぐ、子どもを中心とした地域教育活動に取り組んでいます。

PTAでは、研修会や懇談会などを通じて、子育てについての学習や教師と保護者の連携を深める活動を行っています。

また、広報誌の発行や、登下校時のあいさつ運動など、子どもが健やかに育つ環境づくりにも取り組んでいます。

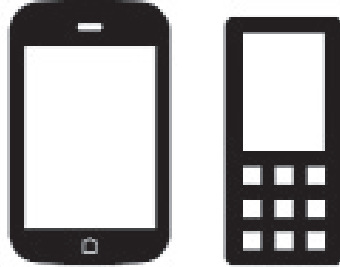


朝のあいさつ運動

PTAによる携帯電話・スマートフォンなどのメディアルールづくり

子どもたちの間で携帯電話やスマートフォンなどの「通信端末機」に関するトラブルや悪影響が深刻な問題になっています。長崎市PTA連合会では、市内小中学生を対象とした通信端末機使用の「共通ルール」を3月に作成し、各学校のPTAでの話し合いなどを通じて、家庭や地域への周知を図っています。

長崎市も、こうしたPTAの取り組みをサポートしていきます。



共通ルール

夜9時以降、通信端末機(携帯電話、スマートフォンなど)の使用禁止！(家族への連絡は除く。)

強く求めたいこと

SNS(ライン、フェイスブックなど)は小中学生にとって不要と考え、使用禁止！

持たせる、持たせないは、親の責任です

- 必要がなければ、通信端末機は持たせない。
- 通信端末機を持たせる場合は、必ず親子でルールを作る。



懇談会などでは、少人数でゲームなどを取り入れながら語り合う「ファミリープログラム」という長崎独自の手法で話し合いを行っています。

子ども会の活動例②



毎年秋に開催される「子どもゆめフェスティバル」では、市内各地の子ども会が手作りブースを出店することなどを通して、子どもたち同士が楽しく交流しています。

子ども会の活動例①



弥生が丘子ども会の親睦もちつき大会(3ページ参照)では、もち米とぎなど準備段階から子どもたちが取り組みました。また、子どもたちが紅白餅を各世帯に配って回り、地域の皆さんとの親睦を深めました。

子ども会は、地域に密着した組織で、子どもたちが自分で考え、活動することを目的としています。自治会や育成協などと協力しながら、季節の行事や廃品回収、清掃活動などを行っています。異なる年齢の子どもたちが仲間づくりと集団活動をすることで、視野が広がり、豊かな心が育まれることが期待できます。

みんなの見守りが子どもたちを伸びやかに

地域のさまざまな団体がつながったり、仲間を増やしたりしながら、子どもたちの安全・安心を見守っています。

子どもを守るネットワーク

子どもたちが安全に安心して過ごせるよう、地域の力を結集して子どもたちを守っていかこうとするネットワークです。平成17年度から、市内全ての小学校区で、PTA、育成協、小学校、中学校、自治会、民生・児童委員、少年補導委員、警察、民間企業など多くの関係者で組織されています。

子どもを守るネットワークでは、



年に1回、多くの人参加して校区内の一斉パトロールを実施しています。(山里小学校区)

毎月定期的にパト

ロールを行い、危険

な目に遭っている

子どもがいけないか、

子どもたちにとつ

て危険な箇所がな

いかなどのチェッ

クを行っています。また、毎年7月

1日前後に啓発的なパトロールを行

い、地域の方々に参加と理解を呼び

かけています。

その他、パトロールなどで得られ

た危険箇所などに関する情報を共有

するための情報交換会を開催したり、

地域の大人同士、大人と子どもが顔

見知りになるための、スポーツ行事、

餅つき、コンサートなどの地域交流

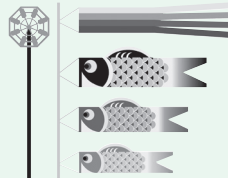
イベントなどを行ったりしています。

「地域の子どもは地域で守り育てよ

う！」という皆さんの強い思いに支

えられ、子どもを守るネットワーク

の活動は着実に地域に根付いてしま



放課後子ども教室

放課後子ども教室は、小学校区内の全ての子どもを対象に、放課後または週末などに小学校などを利用して、安全・安心な居場所を設けるものです。

子どもを守るネットワークや育成協などが実施主体です。具体的な活動内容は各地域で決め、地域のかたがボランティアとして運営に関わっています。

子どもたちは、教室で宿題をした後は、球技などで思いっきり体を動



地域のかたが見守っています(小島小学校区)

かしたり、将

棋やトランプ

などを楽しん

だりします。

ボランティア

の方々は、勉

強の面倒をみ

たり、子ども

たちの安全を見守ったりするほか、

それぞれの持ち味を生かして、将棋

や生け花、卓球などを子どもたちに

教えています。

現在実施している小学校区は12カ

所にとどまっ

ていますが、今後、

地域の方々と調

整しながら、実

施場所を増やし

ていきたいと考

えています。皆

さんのご協力を

よろしく願い

放課後こども教室実施校区

上長崎、小島、茂木、仁田、戸町、西城山、虹が丘、女の都、銭座、高城台、伊王島、尾戸

実施日など詳しくはこどもみらい課(☎825-1949)へお尋ねを。



地域に暮らすあなたの関わりが

子どもの育ちを豊かに



稲田 純子 さん

仁田小学校区で、子どもを守るネットワーク事務局長と、放課後子ども教室のコーディネーターをされています。元仁田小学校PTA会長、元大浦中学校区育成協会長。

ています。

人との出会いやいろんな経験が

子どもたちの財産に

地域の中には、子どもたちが日々接している先生や親、友だちとは違う、いろんな大人がいます。

いろんな特技を持った人を見たり、遊びなどを通してさまざまな体験をしたりすることで、人との関わり方を身につけることができます。これらは、子どもたちにとって、将来の選択肢が広がる大きな財産になると考えています。

楽しみながら

できることをできる範囲で

私自身もそうなんですけど、まわりの方々も、子どもたちとの関わりを楽しんでいると感じます。

放課後子ども教室では、自治会長さんなどを通じて運営ボランティアを募集しており、60〜80代の方々を中心に、年々参加の輪が広がってきています。ボランティアの方々は、「子どもが言うことと聞かんで大変！」と言いつつも毎回楽しそうです。

子どもを預けている保護者からも、「気持ちにゆとりが生まれ、子どもに温

かく接することができるようになった」などの感想をいただきました。

今、子育てをしている人たちは、生活が多様化し忙しい中で頑張っています。だからこそ、子育てを近所の人や他の保護者などにもっと頼ったらいいの、と思っています。

一方で、「PTAなど地域や学校での活動に関わるのは負担が大きくて大変」という声も聞きます。時代の流れに合わせて活動の中身も見直してよいのではないのでしょうか？ 何より、みんなで協力しながら、できることをできる範囲でやっていくことが大切だと思います。



多くの人がそれぞれの持ち味を生かして子育てに参加することで、子どもたちの可能性がさらに大きく広がります。また、子どもたちの元気な姿が見られることは、住む人みんなを明るく気持ちにさせ、地域の中での親睦を深めるきっかけになります。

あなたも、地域での子育てにチャレンジしてみませんか？

地域でのさまざまな取り組みを紹介してきましたが、こうした活動に長年取り組んでこられた稲田純子さんに、地域で子育てすることの大切さなどについてお聴きました。

子育てを通してつながった

人と地域

地域や学校との関わりは、PTAでクラス役員をしたことが始まりです。子どもが4人いたので役員をする機会が多く、副会長、会長となりました。

PTAでは、活動内容そのものよりも、そこに集まった保護者同士で子育

ての悩みなどを話し合えたことが良かったと思つています。他の保護者や地域の方々とながりができたことも素敵な経験でした。

子どもが学校を卒業すると同時に親も卒業するのはもったいないと思い、育成協の事務局長を引き受け、その後、会長となりました。また、平成17年に地域の皆さんと一緒に、子どもを守るネットワークの立ち上げに関わりました。

平成22年9月から、子どもを守るネットワークが主体となって、小学校の余裕教室などで、放課後子ども教室を運営し